



せんしょう苑
望洋荘 便り

第127号
平成26年
6月発行

社会福祉法人りんさく福祉会

開設十周年を迎えて

社会福祉法人りんさく福祉会

理事長 須田 混

平成十二年十月二十七日老人福祉施設整備予定法人として、事前確認調査票をいわき市に提出。それに伴って、第一回の（仮称）社会福祉法人りんさく福祉会準備発起人委員会を設立。平成十四年二月二十三日には第二回の委員会を開催。行政の指導の下に、老人福祉施設等の整備のための種々の事前確認が了承され、事業母体となる、「社会福祉法人」が認可され、法人役員会（理事会）にて平成十四年十二月十日「りんさく福祉会」と命名され正式に法務局に登録されました。

「社会福祉法人りんさく福祉会」として、介護老人福祉施設開設の準備を開始。平成十五年度頭初から特別養護老人福祉施設「望洋荘」建築の検討に入りました。約一年近くの難工事ながら、太平洋を見下ろせる、豊間合磯の地に完成の産声を上げることが出来ました。平成十五年十一月二十七日に竣工記念式典を開催し、十二月一日より入居者さんの受け入れを開始しました。それから十年余、この間地元の方々を始め行政、企業の皆様方には大変なる御厚情を賜りました事に衷心より感謝申し上げます。また、

東日本大震災の折には全国の方々から沢山の御支援を賜り感謝の言葉もありません。りんさく福祉会を代表しまして深甚なる謝意を申し上げます。

さて、「りんさく福祉会」の運営等について、「望洋荘」の入居者、及びショートステイ「しおやさき」の利用者の御家族様、地区の方々にも情報提供として、施設開設より「望洋荘便り」を発行してまいりました。平成十五年十二月に第一号を発行してから、現在百二十号を超えました。頁数についても五百頁を超えようとしています。

平成二十三年十一月一日からは、東日本大震災後の中、建築完成が危ぶまれましたが、りんさく福祉会役員、行政の後押しもあり、地域密着型介護老人福祉施設「せんしょう苑」の発足を見ました。このことから、九十六号からは「望洋荘便り」を「せんしょう苑・望洋荘便り」と名称を変更致しました。今回、法人開設十周年にあたり、この便りの約三分の一を抜粋し記念誌に収録しました。十年余の大きな流れを感じ取っていただければ幸いです。特に東日本大震災の記事については余り割愛せずに掲載しました。震災時のそれぞれの皆様の記憶を呼び起こす縁（よすが）となればと思っております。

「望洋荘」が開設して十年、せんしょう苑も既に二年が経過、りんさく福祉会の事業としても通過点と思っております。これから二十年、三十年と続いて行くわけでありますから、どうぞ今後とも変わらぬ御支援を賜りますようお願いを致しまして、記念誌刊行の挨拶にさせていただきます。

*引用文献 社会福祉法人りんさく福祉会開設十周年記念誌より

介護老人福祉施設 望洋荘

さわやか会

六月十四日にボランティア「さわやか会」が来荘されました。仮装しての歌や、こっけいな踊りなどが披露されると、入居者様方の列からは思わず笑い声が上がりました。また、笛の音色に合わせて民謡を口づさみ、手拍子でリズムを取ったり、タンバリンを叩いたりして楽しんでおりました。

公演が終わった後、「さわやか会」の方々が握手をして回ると、「いやあおもしろかったよ」「また来てねえ」と笑顔で応えられていました。「さわやか会」の皆様、遠路はるばる御足労頂き大変有難うございました。



買い物ツアー

六月十六日に豊間ユニットにて「買い物ツアー」が行われ、総合雑貨店「エプリア」にてお買い物を楽しんでいただきました。

棚にさまざまな商品が並んでいるのをご覧になり、「いろんなものがいっぱいあるねえ」と驚嘆されておりました。衣類売り場でお洋服を選んでもらい、気に入った物を購入して、「いい記念になるね」と喜ばれておりました。

食料品売り場におにぎりなどを購入し、ピクニック気分を外での食事を味わっていただきました。とても楽しまれていたのか、お帰りの際には名残惜しそうにされていました。

父の日

六月十五日の父の日に望洋荘家族会様より季節の花の鉢植えのプレゼントがありました。

素敵な花に囲まれて「いや、立派な花だ」と満面の笑顔を浮かべられておりました。

鮮やかな花々によってユニットの雰囲気はパツと明るくなりました。充分手入れをして長持ちさせて下さい。



食事会・みまや東ユニット

六月二日、みまや東ユニットにて、お食事会が開かれました。かねてよりお寿司が食べたいとの声が上がっていたので、スシローにて購入したお寿司を提供させていただきました。

好みの寿司ネタを前に「あれ美味しそう、取って」と興奮された様子。職員が取り分けると、お寿司を頬張ったり、海苔巻きにかぶりつく姿などが見られました。皆様のほころんだ表情を見ることが出来、開催して良かったと思える食事会でした。

食事会・みまや南ユニット

六月八日、みまや南ユニットにて、お食事会が開かれました。出前寿司「海鮮丸」にお寿司・お弁当などを注文し、入居者の皆様のお好きなものを召し上がって頂きました。

おいしそうに手羽をかじる姿なども見られ、普段はあまり食事をとられない方も、自ら箸を持ってお寿司を口に運ばれておりました。「いや〜うまいもん食べれてよかった」と、皆様満足された様子でした。



食事会・みまや西ユニット

六月八日、みまや西ユニットにて、「海鮮丸」に出前を頼んでのお食事会が開かれました。西ユニットの皆様は主にちらし寿司やうどんのセットなどを食べられておりました。高齢者にはやや量が多かったのか、「もうお腹いっぱいだよ、あんたこれ食べな」と職員に勧める姿もみられました。
「ごちそうを前に話もはずみ、談笑の声が所々で聞こえておりました。」

衣料品展示販売会

六月二十二日、衣料品店「ファミリー」による、衣類の展示販売会が、せんしょう苑みまや広場にて行われました。入居者の皆様は、陳列された商品を実際に手に取って肌触りを確かめたり、鏡の前に立つて衣装合わせをされておりました。「これきれいだね〜」「これもいいね〜」と、気に入ったものをご自分で選び頂くという、お買い物を楽しむ味わってもらえたようでした。

お忙しい中参加頂いたご家族の皆様、大変ありがとうございました。



「平成二十五年年度決算報告」

平成二十六年三月三十一日現在

「社会福祉法人りんさく福祉会」平成二十五年年度決算報告(平成二十五年四月一日～平成二十六年三月三十一日)が役員会総会(理事会・評議委員会)にて承認されましたので、左記の通り「報告」させていただきます。今後とも入居者の皆様方が安心して暮らしていただける様に、質の高い施設運営に務めてまいりますのでよろしくお願い致します。

勘定科目	金額(円)	勘定科目	金額(円)	勘定科目	金額(円)
資産の部		負債の部		事業収支活動の部	
流動資産	211,463,511	流動負債	45,641,465	収入	583,589,480
現金	0	未払金	32,955,078	支出	542,603,156
預金	112,531,942	預り金	31,387	収支額	40,986,324
未収入金	92,076,289	賞与引当金	12,655,000	事業活動収支外の部	
貯蔵品	2,814,743	固定負債	538,537,045	収入	64,984,842
立替金	60,450	設備資金借入金	521,202,264	支出	68,548,080
前払金	3,980,087	退職給与引当金	17,334,781	収支額	-3,563,238
固定資産	1,548,822,748	負債の部合計		584,178,510	
建物	981,139,574	純資産の部			
土地	266,565,160	基本金	228,151,160	当期活動収支差額	37,908,225
建物付属設備	153,675,709	国庫補助金等特別積立金	726,700,464	繰越活動収支差額の部	
構築物	100,048,451	次期繰越活動収支差額	221,256,125	前期繰越活動収支差額	183,347,900
機械及び備品	10,618,180	純資産の部合計	1,176,107,749	当期末繰越活動収支差額	37,908,225
車輛運搬具	1,063,750	負債及び純資産の部合計	1,760,286,259	次期繰越活動収支差額	221,256,125
器具及び備品	15,953,412				
権利	2,313,731				
有価証券	110,000				
退職共済預け金	17,334,781				
資産の部合計	1,760,286,259				

【七月の行事予定】

望洋荘

七月十三日(火)午後二時より
「民謡鑑賞会」二階ホール

七月二十七日(日)午後六時三十分より
「花火大会」正面玄関前

【七月のお誕生日】

望洋荘

七月十三日(日)勿来ユニット
佐藤 ミヨシ 様 (九七歳)誕生会
七月二十三日(水)豊間ユニット
久保 一枝 様 (八七歳)誕生会
七月二十五日(金)永崎ユニット
渡邊 シマ子 様 (九三歳)誕生会

【七月の行事予定】

せんしょう苑

七月六日(日)午後二時より
「ユニット対抗大運動会」みまや広場

七月十三日(日)午後二時三十分より
「八坂神社の御神輿」

職場の教養シリーズ

「リーダーシップ」

組織の上に立つ人は、リーダーシップが求められます。経営コンサルタントの小倉 広氏は、「リーダーシップとは、わくわくする方向性をビジョンとして示し、行動を促すことだ」と言います。そして、集団を一定の方向へ動かす人間的、感情的な影響力を持ち合わせる必要があります。そのためには、スタッフに望むことを、リーダーが先頭に立ち実行することが重要です。自らが実際に示してこそ、スタッフは信じてついてくるのです。これがリーダーの第一歩と心得ましょう。一つの組織は、リーダーを映す鏡ともいわれます。手本を見ることがリーダーシップの大原則です。自分自身さえ思うようにコントロールできないようでは、周囲の人や社員を動かすことはできないのです。人の上に立って、なすべきことを「正しく」伝え、さらに、間違いや手抜きには「注意」し、上手くいっていれば「ほめる」ことも忘れてはなりません。部下や後輩は、上司やリーダーの後ろ姿に学んでいることを知しましょう。

【職場での心がけ】
職員、自ら進んで動きましょう

編集後記

『せんしょう苑・望洋荘』便り
平成二十六年六月三十日発行
発行所 いわき市平豊間字合磯三十九番地
社会福祉法人 りんさく福祉会
地域密着型介護老人福祉施設 せんしょう苑

介護老人福祉施設 望洋荘
電話 (0246)38-6331
電話 (0246)55-7373